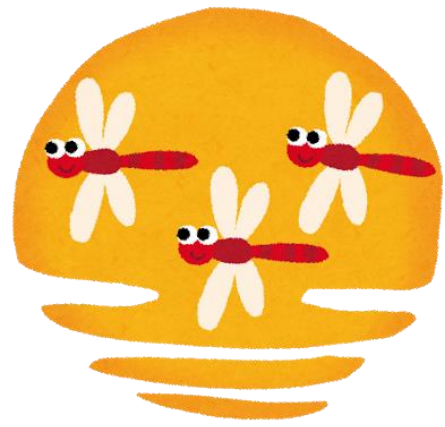


# 乳児ホーム るり



立秋を迎え、朝晩はめっきり涼しくなりました。夏は、プールに蝉取りに元気に汗を流しながら遊んでいた子ども達ですが、季節の移り変わりとともに、どんぐり拾いや落ち葉集めなど遊びの中からも少しずつ秋を感じることができます。



## 乳児ホームるり 基本方針

- ・ 「人柄のよい子に育てよう」という目標のもと愛情を持って養育し、人間形成の基礎を培います。
- ・ 職員は自己研鑽に励み、チームワークを大切にし、同じ方向性を持って家庭的な養育を行います。
- ・ 地域のニーズに応じた子育て支援事業を推進します。
- ・ 常に安心・安全に気を配り、察知能力を養い、危機管理に努めます。
- ・ 保護者との連携を密にして、親の問題状況の解決や緩和を目指し、包括的な取り組みを行います。



## ナースだより

朝夕涼しくなり秋の気配が感じられるようになりました。秋風に心地良さを感じますが、あっという間に寒い冬がやってきます。冬には様々な病気が流行しますが、中でも気を付けたいのがインフルエンザですね。今回はインフルエンザの予防接種についてお話します。

インフルエンザに対するワクチンは個人差はありますが、接種後効果が現れるまでに約2週間程度かかり約5ヶ月間効果は持続します。流行は12月下旬から3月上旬が中心ですので12月上旬までには接種することをおすすめします。あとは、手洗いうがい、マスク等、日常の健康管理に注意し、感染症から身を守りましょう！

手洗いうがい忘れずにね！  
ティンカーベルも気を付けるよ！





# 夏まつり



去る7月20日、乳児ホームりりでは夏まつりが行われました。

例年を上回る来院者の数に、驚きと共に嬉しい悲鳴が上がっておりました。

吹奏楽にフラダンス、ジャグリングに和太鼓と楽しい演目が続き、目を輝かせながらステージを見つめる子ども達。さて、そんな子ども達もステージ上で出し物をしましたよ。

子ども達の出し物は、大好きな絵本「はらぺこあおむし」の劇です。

主人公のあおむしになりきって次々に食べ物のトンネルをくぐっていきます。トンネルをくぐった後の決め台詞は「それでもおなかはぺっこぺこ」。とっても上手に言えました！

実はこのトンネルをくぐる際、年長児と年少児のペアにしていたのですが、手を繋いであげたり、「こっちよー！」と声を掛けたり、面倒を見ようとする年長児の姿を見て「おおきくなったなあ…」と思わずにはいられませんでした。

たくさん食べてお腹がいっぱいになったあおむしは、さなぎになって蝶になります。子ども達は蝶に変身して再登場！会場から聞こえてくる「かわいい」の声に自然と頬が緩んでしまいました。その後、元気いっぱい、ちょうちょのサンバを披露しました。



上手にトンネルくぐれたね



ちょうちょ可愛かったよ

職員による出し物は「ピーターパン」の劇です。

この劇には、職員のみならず子ども達もティンカーベル・マイケル・森の子どもたち、という配役で出演し、劇中に花を添えてくれました。最後のダンス、はなかつぱのエンディング曲「パラリルラ」もパワフルに踊り上げてくれました。温かいご声援や拍手、本当にどうもありがとうございました。



小さな世界のダンスも披露しました



跳んで跳ねて元気いっぱい会場を盛り上げてくれました

子ども達はこのピーターパンの劇がとても気に入ったようで、夏まつりが終わってからも子ども達によるピーターパンの劇が連日行われています。今日も、どこからともなく「ウェンディー！」と、聞こえてくるようです。

夏まつり楽しかったね！  
はい、あーん。

